

# 社協だより

第73号 平成26年10月1日発行

編集・発行



社会福祉法人  
名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80 市役所西棟  
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844  
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>



## 宮城県内社会福祉協議会における災害時相互支援協定を締結

平成26年6月19日、ホテル松島大観荘において宮城県社会福祉協議会と県内の35市町村社会福祉協議会との間で、大規模災害時に県内外の社協へ職員を派遣するための相互支援協定が結ばれました。

東日本大震災の直後には行政や社協の機能が失われてしまったことから、大災害に備えて連携を深める必要があると考えられました。この協定は県社協に「災害支援連絡会議」を置き、派遣規模・期間を調整しながら支援物資のニーズ調査、災害ボランティアセンター設立などを手伝えることを目的としており、県外被災地への支援体制を構築していくことも課題の一つとして取り組まれています。

# 社会福祉協議会 上半期事業のご報告

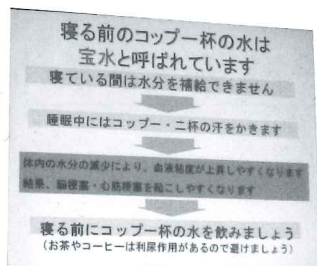
平成26年度の上半期に社協が行った事業についてご報告します。  
それぞれのセクションで新しい試みに挑戦しています。

## 寝る前の コップ一杯の水は 宝水

六月十九日に、ほっとなとり研修委員  
会企画として、株式会社大塚製薬から講  
師を招き、『高齢  
者の脱水と水分補  
給』をテーマに研  
修会を実施しまし  
た。当日は、職員・  
地域関係者を含め  
七十人が参加しま  
した。



体温の上昇に伴い汗をかくことによっ  
て、水分だけではなく、塩分も失われる  
ため、両方をバ  
ランスよくとる  
ことが必要であ  
るなど、隠れ脱  
水を予防する  
ための知識を得  
ました。



脱水症状が起きるのは夏ばかりではあ  
りません。高齢者の方は、のどが渇かな  
くても、こまめに水分と塩分の補給と休  
憩を心掛けましょう。

### 「ほっとなとりへのお問合せ先」

- ・ケアマネジャーへの相談
- ・介護サービス、福祉用具の利  
用について

(名取市社会福祉協議会内)  
TEL 022-3384-6669

## 一歩ずつ、ゆっくりに

「なとりソーシャルサポートセンター  
ぼこあぼこ」では、心の病や障がいのある  
方が地域社会で安心して生活ができる  
ように相談支援事業を行っています。

「ぼこあぼこ」とは「一歩ずつ・ゆっ  
くり」という意味を表しています。

心の病や障がいを持った方の「困つ  
た」「どうしたらよいのだろう?」「など、  
不安や悩みに対して一緒に考えていきま  
す。焦らず、ゆっくりと生きがいを持っ  
て、地域で暮らしていけるようにお手伝  
いしています。

対象の方…名取市内にお住いの精神障害  
をお持ちの方と、そのご家族  
支援内容…電話・面接・訪問相談、福祉  
サービスの情報提供、サービ  
ス等利用計画の作成

開所日…月曜日～金曜日

(祝日と年末年始は除く)

開所時間…8時30分～17時15分



「ぼこあぼこへのお問合せ先」  
なとりソーシャルサポートセンター  
ぼこあぼこ(名取市友愛作業所内)  
TEL 022-3384-8889  
(業務受託法人)  
名取市社会福祉協議会

## 社会復帰をお手伝い

名取市友愛作業所は、主に精神に障が  
いのある方が、共同での作業体験を通じ  
て社会復帰を目指した訓練を行う施設で  
す。平成二十四年四月一日より運営体系  
が変わり、就労移行支援事業と就労継続  
B型事業を行う多機能型事業所として、  
障害福祉サービスの提供を行っていま  
す。

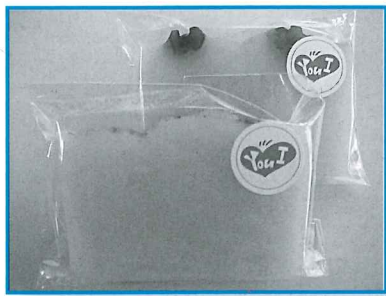
今後、就労を考えている方に向けての  
取り組みとして、昨年度から職場実習や  
事業所見学を積極的に取り入れました。  
平成二十六年八月一日現在における就職  
者数は合計八名となりました。主な就職  
先はサービス業、運輸業、公的機関での  
事務職、近隣の就労継続A型施設など、  
作業所を卒業された方々が多岐にわたっ  
て社会貢献を遂げているところです。

また、今夏初めての試みで、就職された先輩方をお招きし、就労OB会を開催しました。現在通所されている利用者の方々へ、卒業生より就職へ向けての心構えや、作業所に通うことで培ったことについて、



実体験を踏まえた様々なアドバイスがあり、大変貴重なお話を聞ける機会となりました。

今後とも友愛作業所からより多くの方々へ地域とつながりを持ち、社会で活躍していけるような場を築いていきたいと思っております。



▲大好評の「がんづき」定期販売  
 ※毎月第2・4金曜日 10時半～11時半  
 ※名取南地域包括支援センター前にて販売  
 (時期により日程の変更があります)  
 ※がんづき(くるみ・ごま)各50円

『名取市友愛作業所へのお問合せ先』  
 TEL 022-384-8876  
 (業務受託法人)  
 名取市社会福祉協議会

### 笑顔あふれる町

こんにちは！名取南地域包括支援センターです。

開所してから早六年目。今年度は担当地域のみなさんに、もっともっとセンターを広く知っていただくことを目標に掲げ、各地区の高齢者大学や町内会、老人クラブの集まりに参加しています。

また、六十五歳以上の介護認定を受けていない方を対象に、運動を継続し今後元気な名取が丘・館腰・愛島の公民館で「介



護予防教室」を開催しています。

当センターは、みやぎ生協の子育て広場やポケットサークルの野菜直売、名取市友愛作業所の菓子販売などの会場としても賑わ

い、地域の方々の出会いや交流の場でもあります。住み慣れたこの町で、つながり、を広め安心して暮らせるように、生活



の中のいろいろな相談の窓口としてセンターを身近に感じ、利用していただきたいと思います。『そつだ！包括に相談だ！』を合言葉に地域の皆様と手を取り連携しながら、笑顔のあふれる町づくりを目指しています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

『名取南地域包括支援センターへのお問合せ先』

TEL 022-399-7570

(業務受託法人)

名取市社会福祉協議会

## 名取市の現況

●人口	75,020人
男	36,784人
女	38,236人
●世帯数	27,985世帯
●65歳以上の人口	14,895人
男	6,604人
女	8,291人
●高齢化率	19.85%
(平成26年3月31日現在)	

## 平成26年度名取市福祉調査表

調査期日：平成26年4月1日現在  
 調査員：民生委員児童委員

	増田	増田西	名取が丘	関上(仮設住宅に居住の関上地区の方を含む)	下増田(仮設住宅に居住の下増田地区の方を含む)	館腰	愛島	高館・ゆりが丘・相互台・那智が丘・みどり台	合計
ひとり暮らし高齢者	283	214	218	132	28	129	56	167	1,227
寝たきり高齢者	15	6	2	4	10	12	8	19	76
高齢者世帯	339	299	346	103	34	206	106	392	1,825
在宅重度心身障害児者	34	47	35	43	22	44	20	40	285
地区別高齢化率	19.3%	21.1%	32.3%	32.5%	12.2%	22.7%	16.7%	16.9%	

※関上、下増田地区については、それぞれの地区民生委員が担当する世帯を集計しています。

# なとり復興支援センター

# ひより

「なとり復興支援センターひより」は、名取市災害ボランティアセンターが閉所した後、応急仮設住宅にお住まいの方々への支援を行うセンターとして平成23年8月12日開所しました。スタートしてから3年が経過しましたが、ひよりの支援体制も復興の状況とともに日々変化しています。開所から現在までの支援体制の移り変わりについてご紹介します。



## 常駐体制へのこだわり

なとり復興支援センターひより（以下ひより）は、開設時から応急仮設住宅集会所へ生活支援相談員が「常駐」しての支援体制を継続しています。

ひよりは「常に住民の皆さんと共にあり、日常生活の中で頼れるパートナーでありたい」という思いから名取市社会福祉協議会（以下、名取市社協）が運営を開始したセンターです。この思いは名取市社協が運営していた名取市災害ボランティアセンターの合言葉「一人じゃないよ」一緒にがんばろう!! から受け継がれています。

常駐することで、住民の皆さんと共に多くの時間を過ごし、少しずつ関係づくりを行ってきました。今では、住民の皆さんから相談員に対し、健康面や人付き合いについてなど、様々な相談をいただく機会が増えてきました。

常駐体制で支援活動を実施している市町村は少なく、宮城県内ではほとんどありませんが、この体制こそ名取市社協・ひよりとしての、住民の方々とのつながりを大切にしたい支援活動の「こだわり」だと言えます。

仮設住宅集会所でのお昼寝そばづくりの様子



美田園第一仮設住宅の盆踊りの様子



## 生活支援相談員 2名体制へ

スタート当初は、各応急仮設住宅に生活支援相談員を一名ずつ配置していました。（美田園第三仮設は美田園第二仮設と兼務）しかし、住民の皆さんとの関わり、巡回・見守り体制の強化を目的に、平成二十五年四月から相談員の増員を行い、各仮設住宅への二名配置を始めました。これは、月曜日から金曜日の平日での常駐支援から土日祝日関係なく活動できる体制へ移行するためでもありました。正式には平成二十五年九月から一仮設団地二名の相談員によるシフト制配置がスタートしました。

## なとり復興支援センター ひよりのあゆみ

市内の状況とひよりの動き

平成23年	8月12日	★なとり復興支援センターひより 開所
	9月1日	★復興支援コーディネーター2名 及び生活支援相談員6名採用
	9月14日	★応急仮設住宅集会所へ 生活支援相談員1名配置 *月～金の常駐開始 (箱塚桜・箱塚屋敷・植松入生・愛島東部・美田園第1・美田園第2の6仮設住宅)
平成24年	1月22日	★名取市議会議員選挙
	2月6日	★ひより事務所を名取市民体育館から名取市役所西棟に移転
	3月11日	★東日本大震災合同慰霊祭開催
	4月1日	★生活支援相談員7名体制へ 雇用促進住宅集会所へ配置 名取市サポートセンター「ごっこ」なとり 開所 *県借上げ住宅に居住する方などを対象にサロン運営や個別訪問を実施 名取市文化会館再開 名取市長選挙
	7月8日	名取市長選挙
	7月26日	下増田地区集団移転計画発表
	8月4日	なとり夏祭り2年ぶりに開催
	8月26日	関上中学校仮設校舎での授業開始

# 土日祝の見守り体制 スタート

これまで月曜日から金曜日のみであった相談員の常駐を土日祝日を含めた体制へと移行し、十四名の相談員はシフト制により交代で勤務にあたっています。

これにより、限られた時間（相談員の常駐は九時から十六時まで）ではありますが、相談員が毎日仮設住宅集会所にいる状態となりました。

土日祝日に活動することによる成果として、平日には会えない住民の方と関わりを持つことができること、土日も集会所が開くこと（相談員が勤務であれば）、自治会で鍵を開けていただいています（住民の皆さんの集いの場としてさらに活用が促進されたことなどがあります。

震災直後と比較すると、現在は土日祝日の支援団体による集会所での活動が少なくなっています。（住民の皆さんからの声もあり、土日祝日はゆっくり過ごしています）そんな土日祝日の時間は、住民の皆さんとゆったり過ごせる日、日頃ゆつくりと話ができない方と話をするこができる日として、とても大切な時間だと感じています。



▲見守りシステムを確認している様子

## 見守りシステムの導入

平成二十六年三月一日から六十五歳以上の方のみの世帯等へ「見守りシステム」が導入されました。

これは、名取市が見守り支援のツール（道具）として導入したもので、①タブレットを使っての「お元気発信システム」②テレビや冷蔵庫にセンサーを取り付ける「e見守りシステム」③警備会社直通の非常ボタンである「緊急通報システム」がセットになったものです。日中はひよりの相談員が、夜間は警備会社がシステムを活用し見守り支援を行っています。

システムは補助的なツールですが、これを活用することで、より住民の皆さんの状況に合わせた見守りが可能となり、また住民の皆さんにとっては安心感を高めるものとなっています。



▲ひよりの職員の研修会の様子

## 今後に向けて...

震災から三年半が経過し、人員体制や道具の活用など、ひよりの支援活動も変化してきました。しかし、「住民の皆さんと共に、生活のパートナーとなる」という思いに変化はありません。

今後、災害公営住宅等の整備に伴い、住民の皆さんの環境には様々な変化が訪れます。そのような時であるからこそ、名取市社協・ひよりの住民の皆さんと共にある姿勢を大切に、地域コミュニティの再生に向け、継続的に関わってまいります。

8月31日	★南三陸町生活支援相談員業務の現地視察
10月17日	★第39回名取市老人クラブ芸能大会 震災後初の開催
11月12日	「どっと、なとり」常設サロンを開設（JOCAに業務委託） *県借上げ住宅に居住する方を対象としたサロン
11月29日	★第38回名取市社会福祉大会 震災後初の開催
平成25年	
3月11日	東日本大震災名取市追悼式開催
3月15日	名取市民体育館再開
4月1日	★一仮設の相談員二名体制に向け、相談員の増員
4月1日 ~ 7月8日	★名取市災害ボラソン同窓会開催
4月6日	★名取市災害ボラソン同窓会開催
5月4日	ゆりあげ港朝市が閉上会場で再開
5月27日	★「おでっこ」登録システム稼働
7月25日	★ふれあい交流会開催
9月1日	★土日祝の仮設住宅集会所 常駐開始
10月28日	下増田地区安全祈願祭・起工式
11月22日	関上地区土地区画整理事業認可
平成26年	
3月1日	見守りシステム導入
8月11日	東日本大震災慰霊碑除幕式 (★印が名取市社協及びひよりの関係です)

# 社会福祉協議会に寄付をしていただいた 方々を掲載しました。

(平成26年2月1日～平成26年8月31日の間)

善意の気持ちを大切に、みなさまに喜んでいただけるような活用をさせていただきます。



## 現金の寄付

(敬称略)

(敬称略)

月日	氏名	金額(円)	月日	氏名	金額(円)
2.3	七十七愛の募金会 代表 中島 芳樹	100,000	5.19	みちのくフリーマーケット協会 (増田西)	5,000
3.7	社会福祉法人伊丹市社会福祉協議会 (芋煮販売収益)	1,526	5.27	有限会社角栄ホーム リファイン名取 代表取締役 板橋 満	59,395
3.25	つちや整骨院 (増田)	32,336	6.5	一八会 会長 赤沼 博	30,000
4.14	みちのくフリーマーケット協会 (増田西)	5,000		一八会 有志一同	3,860
4.30	朝日新聞名取販売所 (増田西)	10,000	6.6	(旧) 沼倉税法研究 友の会	377,801
	中央区東日本大震災被災地支援プロ ジェクト 代表 村井 和子 (神戸市)	398,379	6.12	横尾幸秀後援会 (新潟県)	72,815
5.2	須江 良充 (増田)	5,000	8.11	庄司 貞夫 (増田西)	100,000
5.8	とちぎ蔵の街 うたごえ喫茶実行委員会 (栃木市)	23,000	8.20	有限会社モンドール 店内設置募金箱	10,117
	第18回とちぎ蔵の街 うたごえ喫茶参加者一同 (栃木市)	56,736		名取市社会福祉協議会 事務所内設置募金箱	2,978

※その他、匿名希望の方から寄付金 (11件・411,697円) を頂きました。

## 物品の寄付

(敬称略)

月日	氏名	物品名	払い出し先
3.27	守屋 悦子 (増田)	ケアシート 4袋 紙おむつ等 3枚	市内高齢者
4.1	イオンモール名取	文具 おもちゃ 355点 衣類等	名取市友愛作業所 名取市みのり園 名取市若竹園 鹿島田保育園
4.8	那智が丘老人クラブ福寿会 会長 田端 幸男	雑巾 180枚	名取市立那智が丘小学校 那智が丘児童センター 名取市那智が丘公民館
5.29	朝日生命相互会社 労働組合 仙台支部	タオル 230本	社会福祉法人みずほ 社会福祉法人愛の郷 特別養護老人ホーム松陽苑 名取東地域包括支援センター 名取南地域包括支援センター 名取西地域包括支援センター
6.5	一八会 有志一同	タオル 60本	本郷サービスセンターふるさと 市内高齢者

※その他、匿名希望の方から物品2件 (紙おむつ・清浄剤・尿とり用パッド) を頂きました。

# 名取市社会福祉協議会 現況報告

名取市社会福祉協議会は、皆さんにご協力いただいた会費や補助金、共同募金配分金、介護保険事業収入等により事業を運営しています。  
ここでは、決算状況および予算状況を報告します。

## 平成 25 年度 収支決算報告

### 〔資金収支決算書〕

《収入》

(単位：円)

勘定科目	決算額
会費収入	5,649,470
寄付金	3,274,789
経常経費補助金・助成金	33,020,557
受託金収入	66,880,118
事業収入	31,410,282
共同募金配分金収入	5,112,336
介護保険等事業収入	202,287,578
授産事業収入	2,923,560
雑収入	1,221,276
前期末資金残高	69,424,510
収入合計	421,204,476

《支出》

(単位：円)

勘定科目	決算額
人件費支出	264,827,393
事務費支出	9,659,967
事業費支出	47,727,802
共同募金配分金支出	3,499,011
授産事業支出	2,931,949
固定資産取得支出	765,240
積立基金積立支出	2,661,326
当期末支払資金残高	89,131,788
支出合計	421,204,476

### 〔貸借対照表〕

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	128,017,196	流動資産	38,885,408
現金	116,200	未払金	21,437,874
預貯金	80,848,482	預り金	272,993
未収金	35,087,173	仮受金	2,171
会計単位外貸付金	700,000	未返還金	8,922,370
会計単位内貸付金	7,550,000	会計単位外借入金	700,000
立替金	1,023,116	会計単位内借入金	7,550,000
仮払金	2,355,715	固定負債	0
前払金	336,510	負債の部合計	38,885,408
固定資産	103,504,560	純資産の部	
基本財産	1,000,000	基本金	1,000,000
その他の固定資産	102,504,560	その他の積立金	95,894,965
		次期繰越活動収支差額	95,741,383
		純資産の部合計	192,636,348
資産の部合計	231,521,756	負債・純資産の部合計	231,521,756

## 平成 26 年度 収支予算状況

### 〔資金収支予算書〕

《収入》

(単位：円)

勘定科目	予算額
会費収入	5,588,000
寄付金	101,000
経常経費補助金・助成金	32,342,000
受託金収入	72,443,000
事業収入	23,828,000
共同募金配分金収入	2,447,000
介護保険等事業収入	200,359,000
授産事業収入	2,522,000
雑収入	418,000
収入合計	340,048,000

《支出》

(単位：円)

勘定科目	予算額
人件費支出	274,154,000
事務費支出	10,115,000
事業費支出	50,450,000
共同募金配分金支出	1,647,000
授産事業支出	2,522,000
その他の支出	1,160,000
支出合計	340,048,000

# 名取市社会福祉協議会からのご案内

～福祉のまちづくりを行っています～



## 「老眼鏡クーポン券」を20名様に!!

メガネの相沢 名取店様より「敬老の日」にあたり老人福祉の一助として名取市のお年寄りにお祝いとして老眼鏡クーポン券を20組ご寄付いただきました。このクーポン券を抽選で20名様に差し上げます。応募方法は下記のとおりです。多くの方の応募をお待ちしております。

【対象者】 満65歳以上でご本人がメガネの相沢名取店に出向くことができる方（検眼が必要です。）  
※過去に当選した方はご遠慮願います。

【申込方法】 官製はがきに「老眼鏡クーポン券」と記入し、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、下記宛先までご応募ください。

【申込締切日】 10月15日（水）（当日消印有効）  
※申し込み多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。  
なお、当選発表はクーポン券の発送をもって代えさせていただきます。

## 赤い羽根共同募金運動のお知らせ



いつもみなさまからのあたたかい善意・ご協力をいただきありがとうございます。  
市内の町内会が、今年の4月に宮城県共同募金会から”安全生活支援事業”と”赤い羽根チャイルド育成事業”の配分を受けましたことをご報告いたします。  
今年も10月1日から12月31日にかけて、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されます。できる限りでかまいませんので、皆さまからのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

### ＜ご存知ですか？「かざして募金」～スマホをかざして募金ができます～＞

「かざして募金」アプリ（無料）をインストールしてアプリを立ち上げ、登録された寄付先のポスターやチラシなどにスマホをかざして画面をタッチすれば募金完了です。寄付金額は100円～10,000円の6種類から選べます。

募金のお支払方法は携帯キャリアによって異なります。詳しくはこちらからご確認ください。

- ※中央共同募金会 <http://www.akaihane.or.jp/donate/donation/index.html>
- ※「かざして募金」専用サイト [http://www.softbank.jp/corp/csr/donation/instance\\_01/](http://www.softbank.jp/corp/csr/donation/instance_01/)

【お問い合わせ、応募先、ご相談】

## 社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

〒981-1292 名取市増田字柳田80番地 TEL 384-6669

ホームページもご覧ください <http://www.natorisyakyo.or.jp>